

教員名	小風 秀雅 (KOKAZE Hidemasa)
所 属	人間文化研究科国際日本学専攻日本分析論講座
学 位	文学博士 (1995 東京大学)
職 名	教授
URL / E-mail	kokaze@cc.ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

不平等条約 / 近代化と国民アイデンティティ / 近代世界システム / 企業資料論 / 世界文化遺産

## ◆主要業績

総数 ( 14 ) 件

- ・「19世紀の世界と東アジア不平等条約体制の機能について」  
 (『魅力ある大学院教育』イニシアチブ〈対話と深化〉の次世代女性リーダーの育成  
 平成17年度活動報告書 海外研修事業編) 114～122頁
- ・「明治憲法と国家統一勤皇の社会史的再検討」  
 (『魅力ある大学院教育』イニシアチブ〈対話と深化〉の次世代女性リーダーの育成  
 平成18年度活動報告書 海外研修事業編) 323～328頁
- ・「明治憲法の制定と近代日本」 (『2006年台大日本語文創新国際学術研究会論文集』) 27-42頁
- ・「冊封体制と不平等条約体制」 (『不平等条約体制下、東アジアにおける外国人の法的地位に関する事例研究』  
 科学研究費研究成果報告書) 59-64頁

## ◆研究内容

近代世界システムのサブシステムとしての不平等条約が東アジア世界においてどのような機能を果たしたのか、について研究を進め、韓国の淑明女子大学との共同ゼミにおいて報告した成果をまとめた。また、近代日本のアイデンティティ形成における勤皇の観念の形成過程について、実証的により掘り下げ、台湾大学で開催された日本学の研究集会およびロンドン大学SOASとの共同ゼミにおいて報告し、それぞれ異なった観点からであったが、一定の評価を得た。

なお、海外6大学の参加を得て立ち上げた国際日本学コンソーシアムのシンポジウムを開催し、日本学における国際的協力の枠組み作りに努力した。

また、文化庁の諸委員会に参加し、日本における近代遺産の選定に関与し、文化財行政に関する研鑽を積んでいる。

## ◆教育内容

学部教育においては、日本の近代化に関する講義、演習を担当し、とくに明治初期の近代化政策についての論文指導にあたった。また博士前期課程においては、日本近代史の演習・論文指導のほか、史料管理学に関する演習を実施し、文化系諸分野におけるアーカイブズの現状について研究指導を行った。

博士後期課程においては、論文指導を継続しつつ、日本学に関する国際ジョイントゼミを、ロンドン大学と合同で実施したほか、台湾大学において、大学院生の研究指導にあたった。

## ◆共同研究例

---

---

越境する人と法

歴史情報資源とアーカイブズ・ネットワーク

## ◆共同研究可能テーマ

---

---

- ・東アジアの近代化と日本
- ・企業アーカイブズと史料管理学
- ・交通と近代社会

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

---

19世紀における近代世界システムの実態、および不平等条約体制に関する著書を近いうちにまとめる必要がある。また、日本学を通じた国際的な学術交流をいっそう推進し、グローバルな視点からの日本学研究の成立にむけて、努力したい。